

## I 令和4年度事業計画書

当協会は、昭和59年に視覚障害者食生活改善協会として創立されて以来、組織の変遷を経つつも、継続して、視覚障害者や高齢者など日々の食生活を営む上でハンディがある人々に対し、必要とされる情報などをお届けするため、様々な活動を行っております。

令和4年度においても、日頃ご支援いただいている皆様のご理解をいただきながら、従来の方針の成果を踏まえ、さらに事業内容の見直しを図りつつ、視覚障害者への食生活に関する情報の提供、視覚障害者の食生活の自立支援及び食育に関する事業を推進して参ります。

### 1 視覚障害者への食生活情報の提供

#### ① 月刊「声の食生活情報」の提供

食生活に関する知識と情報を録音した月刊「声の食生活情報」について、カセットテープ又はデージー（デジタル録音図書国際標準規格）対応のCDで、視覚障害者個人、視覚障害者福祉協会、点字図書館、盲学校等へ提供します。また、当協会のホームページや視覚障害者向けの「サピエ図書館」からも音声提供します。

本年度においては、フレッシュな現地情報を入れた産地動向の紹介など、その内容の充実を図るとともに、「声の食生活情報」の利用者の拡大に努めます。

〔(公財) 飯島藤十郎記念食品科学振興財団助成事業〕

〔(一社) 日本フードサービス協会助成事業〕

#### ② パックご飯の番組作成

電子レンジなどで温め、そのまま食べることができる便利な食材であるパックご飯をテーマに、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構と共同で、パックご飯のアレンジレシピなどを紹介する番組を10回「声の食生活情報」に連載し、その番組を別途デージー版CDとして取りまとめ、希望者に配布します。

#### ③ ホームページを活用した食生活情報の提供

毎日の食事の献立のヒントとなるレシピの紹介などのホームページの内容の充実を図るとともに、スマートフォン版のホームページを通じた様々な食生活情報の提供を進めます。

## 2 視覚障害者の食生活の自立支援

### ① 料理レシピ集の作成・提供

視覚障害者が自立してより良い食生活を営むための実践の手引きとして、本年度においては、健康を維持するために不可欠な野菜をしっかりと食べることができる野菜料理のレシピ集を作成し、提供します。

弱視の方を含む視覚障害者本人が利用できるよう、大活字に透明点字を載せ音声コードを付けた使い勝手のよいものとします。

〔(一財) 日本宝くじ協会助成事業 申請中〕

### ② 食肉情報の提供と料理教室の開催

シニア層の多い視覚障害者は、購買行動の不便さもあって、高齢者に一般的な動物性たん白質の摂取不足がより大きな課題となっています。

このため、弱視の方を含む視覚障害者本人が利用できるよう、大活字に透明点字を載せ音声コードを付けた使い勝手のよい牛肉料理や豚肉料理を紹介するレシピカード集を作成し、提供するとともに、それを教材として活用する料理教室を開催します。

〔(公社) 日本食肉協議会助成事業 申請中〕

### ③ 即席食品を利用した料理教室の開催

調理が簡便で買い置きしやすい即席食品は、視覚障害者にとっても便利な食品です。賛助会員のご協力をいただき、即席食品を利用した料理教室を開催します。

## 3 食育の推進

### ① シニア世代の健康と食を考えるセミナーの開催

シニア世代が健康で元気に生活できることをめざし、シニア世代の健康と食生活に関する課題に対応し、食生活環境を改善するため、食に関する様々な知識・手法を各分野の専門家から紹介いただくセミナーを開催します。

### ② シニア食育教室の開催

高齢者の健康で充実した毎日を実現することをめざし、高齢者の食生活の現状や望ましい食生活に関する学習会とバラエティーに富んだ食事をセットにした食育教室を開催します。

③ シニア料理教室の開催

高齢者を対象にして、牛乳・乳製品を使った栄養バランスの良い新しいメニューの普及とそれを通じた牛乳・乳製品の持続的な消費拡大を図るための料理教室を開催します。

〔関東生乳販売農業協同組合連合会助成事業 申請中〕